

ポートフォリオ キックオフ

はじめに

1ヶ月目の基礎学習

2ヶ月目の応用課題、チーム開発 お疲れ様でした！

いよいよ3ヶ月目である、**ポートフォリオ制作**へ突入です！

より一層気を引き締めて学習を進めていきましょう！

アジェンダ

1. ポートフォリオ制作とは
2. スケジュール
3. テーマ提出について
4. 進捗報告について
5. 発表会について
6. 企業はPFのどこを見るのか
7. 学習レポート
8. デイリースクラム

1. ポートフォリオ制作とは

WCO.ポートフォリオ制作フェーズver3.0を
開きましょう！

DMM WEB CAMP

COMMIT ポートフォリオ制作フェーズ ver3.0 ✓



 ポートフォリオ制作ガイドライン



1章【ポートフォリオ(PF)制作とは】

2. スケジュール

3. スケジュールと提出物

締切	提出物	備考
5/4 23:59	テーマ（詳細 + 背景）+ チャレンジ要素一覧	レビュー有 / 公序良俗に反しないもの
5/10 23:59	WBS	レビュー有 / 設計後に提出
5/10 11:00	ポートフォリオテーマ発表会	諸注意・グループワーク
5/15 23:59	進捗報告(1回目)	提出のみ
5/16 23:59	テストデプロイ（渋谷受講生）	提出のみ
5/19 23:59	テストデプロイ（難波受講生）	提出のみ
5/20 23:59	進捗報告(2回目)	提出のみ
5/23 23:59	テストデプロイ（新宿受講生）	提出のみ
5/25 23:59	進捗報告(3回目)	提出のみ
5/29 23:59	<ul style="list-style-type: none">自己評価/振り返り完了報告	提出のみ
5/31 11:00	ポートフォリオ発表会	- 提出方法は追って説明します

2.スケジュール ~テストデプロイ~

※5/10までに[AWSを学ぼう・デプロイを学ぼう]

の学習を行いましょう。

[AWSを学ぼう・デプロイを学ぼう]を学習していない状態で、実装期間に入ってしまうと、WBS通りに進まず、制作に遅れが生じる恐れがございます。

既に学習をされている方も、必ず予習・復習をお願い致します。

また、デプロイ作業を行うときは、必ず**デプロイ手順チェックシート**を使用しましょう。

<https://ux.nu/EXBwD>

※ファイル→コピーを作成の順で複製して使用してください。



3. テーマ提出について

3. PFテーマを決める際の注意点

□ PF制作で最も重要なこと

PF制作は自由テーマではありますが、
目的はこれまで身につけたスキルを展開し、
そこから更に発展させて企業に自身のスキルをアピールするものです。

そのため、好きなサービスを作ることが目的ではなく、

期日までに完成（正しく動作）させること、

正しいコードを書くこと、技術を理解して扱うことが大切になります。

3. PFテーマを決める際の注意点

現在の自身の技術力に不安のある方や、

2ヶ月目の応用課題が十分に進められなかった方へ

□ 前提

- 2ヶ月目の応用課題の達成がday3まで。もしくは、Bookers2(課題3)に理解できていない箇所がある。

□ 参考テーマ

- 自身の力でBookers2の機能をベースとして実装し、そこへ機能追加をするテーマにしましょう。
- Bookers2はSNSサービスの基本機能を持っています。
- SNSサービスとして、何を交流・情報交換するサービスなのか？「好きな写真」「好きな料理」等、これまでのご自身の経験・経歴などを元に何かの情報を投稿・共有するサービスをテーマにしてもよいと思います。

3. PFテーマを決める際の注意点

□ 実装する機能例

- 実装する機能は以下の優先順位で取られると、着実に進められます。

Bookers2相当機能+デプロイ+リーダブルコード

- ユーザ機能
- コメント機能
- いいね機能
- デプロイ
- リーダブルコードの意識
(インデント、変数名を正しく書く)

発展機能

※デプロイ完了後、更に技術力を上げるため、以下を取り入れるとよいです。

- Rspec
- Rubocop
- JavaScript(jQuery)
- 開発スキルアップからピックアップして実装

3. PFテーマを決める際の注意点

□ 前提

- 2ヶ月目の応用課題の達成がday6まで。もしくは、Bookers2(課題3)が理解できており、修了していること。

□ 実装する機能例

- 実装する機能は以下の優先順位で取り組まれると、着実に進められます。

Bookers2相当機能+デプロイ+リーダブルコード

- ユーザ機能
- コメント機能(非同期通信を使用)
- いいね機能(非同期通信を使用)
- ランキング機能
- 検索機能
- デプロイ
- リーダブルコードの意識 (インデント、変数名を正しく書く)

発展機能

※デプロイ完了後、更に技術力を上げるため、以下を取り入れるとよいです。

- Rspec
- Rubocop
- JavaScript(jQuery)
- 開発スキルアップからピックアップして実装

3. テーマ/チャレンジ要素一覧のセルフチェック

テーマ/チャレンジ要素一覧の提出前に、以下項目を満たしているか確認しましょう。
すべて満たしていたら提出しましょう！

- ✓ : PFのRailsアプリケーションのREADME.mdに記載していますか？
- ✓ : README.mdに<>は残っていませんか？必要でなければ削除しましょう。
- ✓ : チャレンジ要素一覧の閲覧権限は「リンクを知っている全員が閲覧可」になっていますか？
- ✓ : チャレンジ要素一覧のファイル名に「のコピー」は残っていませんか？
- ✓ : チャレンジ要素一覧の「参考サイトやイメージが湧くアプリがあればそのURLを記入ください」列にカリキュラムのURLや応用課題のURLを記載していませんか？
(受講している皆さんにお渡ししている資料は基本的に外部公開を禁止しています)

4. 進捗報告について

4. 進捗報告

下記の内容をご報告いただきます。

- WBS(更新済みのもの)
- 進捗状況（遅れ/予定通り/前倒し）
- GitHubリポジトリURL
- チャレンジ要素一覧(更新済みのもの)
- 機能実装率（%）
- 実装予定機能数
- 実装済み機能数
- 一週間を振り返って
- 次週までの目標

報告内容を元にサポートさせていただくこともあるので、**忘れずに必ず提出**してください！

「遅れているから報告できない…」ではありません！
報連相は開発現場で働く上で、**基本中の基本**です。

進捗報告の際に**[遅れ]**の場合、WBSの見直しを行い**[予定通り]**になるように、修正をしましょう。

※進捗報告内容の詳細は<https://is.gd/CuYx0o>をご確認ください。

4. 進捗報告～ チャレンジ要素一覧について ～

チャレンジ要素一覧の実装が完了した機能は✔を
しましょう。

都度更新を行い、進捗を確認しスケジュールを意識
して制作していきましょう。

開発現場において、決められた納期に向けてスケジュール
を管理することは必須です。

進捗報告入力数値	
実装予定機能数	8
実装済機能数	2
機能実装率	25%

5. 発表会について

5. ポートフォリオテーマ発表会

- **開催予定日: 5/10(月) 11:00~12:30**

PF制作後半・転職活動に向け、受講生同士で相談や共有、PFのプレゼン練習を兼ねて、PFテーマ発表会を実施いたします。

シートを共有致しますので、テーマ発表までにプレゼン内容を考えておきましょう。

こちらがプレゼンでご利用いただくシート<https://ux.nu/NyNrb>です。

※ファイル→コピーを作成の順で複製してください
事前準備に1時間程みておきましょう。



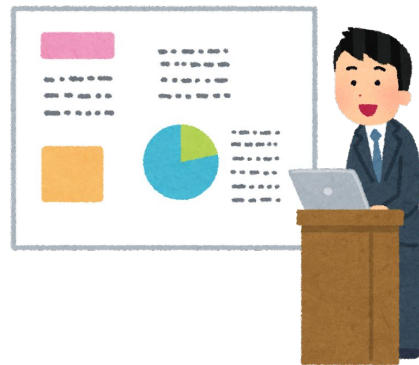
5. スケジュールと提出物 ~発表会~

発表会で自身のPFをプレゼンしていただきます。

日程：5/31(月)

(詳細は後日、月生チャンネルにてアナウンスさせていただきます)

29日のデプロイ期限を納期とし、
アプリケーションの実装はもちろん、本番でしっかりと
発表できるところまで意識して取り組みましょう！！



6. 企業はPFのどこを見るのか

6. 補足～企業はPFのどこをみるか～

企業は、アプリケーションやソースコードから、以下を判断します。

「エンジニアとしてのスタンス」「一緒に開発に取り組めるエンジニアか？」

あなたが

- システム利用者（エンドユーザ）を考えているエンジニア
- チームメンバーに配慮できるエンジニア
- 今後の保守運用を考慮しているエンジニア

であることを証明するためにも、

次に説明する**3つの対策**をしましょう！

6. 補足～企業はPFのどこをみるか～ 対策①

対策①：エラーにより動作しない箇所をなくしましょう！

- ❑ システムは、作って終わりではありません。稼働後が本番です。
要は、「動いてナンボ」なのがシステム開発です。
「この人はリリース後の運用を考えられるエンジニアか？」
「この人はエンドユーザのことを考えているエンジニアか？」
を企業は見ています。
バグばかりのアプリケーションでは、その姿勢が伝わりません。
- ❑ テスト期間をしっかり考慮に入れ、バグを潰しましょう！

6. 補足～企業はPFのどこをみるか～ 対策②

対策②：コメントを書きましょう！

- ❑ ソースコード内のコメントは、実際の挙動に影響がないため、ついつい記述が疎かになりがちです。
しかし、コードは自分以外がメンテナンスすることにも非常に多いです。
コードだけでは伝えづらい「なぜこの処理を書いたのか」という注釈が必要になります。
- ❑ 「コメント 重要性」「コメント 粒度」で検索してみましょう！

6. 補足～企業はPFのどこをみるか～ 対策③

対策③：リーダブルコードを意識しましょう！

- ❑ リーダブルコードとは
 - ❑ 読みやすいコードのこと
- ❑ インデントや変数・関数名の分かりやすさ、DRYであるかどうか...
どれくらい意識できているでしょうか？
コメントと同様、いかに他者に配慮したコードを書いているかを企業はチェックします。
- ❑ 「リーダブルコード 要約」で必ず検索してみましょう！

6. 補足～企業はPFのどこをみるか～ 技術的観点以外

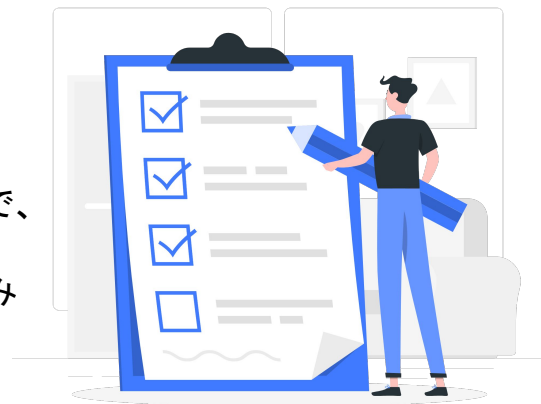
PFをみる企業は技術的観点はもちろんですが

- PFのテーマや取り組みや、こだわりによってパーソナリティなどをみています。

そのため、技術にこだわる以上に

使い手をイメージした作り込みができているか

- エラーがないこと、テストデータでないこと、レイアウトが使いやすいかも重要なので、技術によりすぎて不完全な成果物になってしまうより
「技術がなくても誰にでも意識し取り組めば出来る点」に重きを置く事も意識
してください。



7.学習レポート

7.学習レポート

自身の学習進捗を確認したり、振り返りをする機会として「**学習レポート**」をご用意しました。

学習進捗を日次と週次形式で記載していただく

「**デイリーレポート**」・「**ウィークリーレポート**」を元に、

自身の学習を振り返り、改善していきましょう！

学習・制作ペースの維持や、自身の学んだ内容/進捗を客観視し、
スケジュールの軌道修正を行う復習に役立てるといった取り組みに活用することができます。

実施日

- ・デイリーレポート 毎日学習終了時点（※休校日は除く）
- ・ウィークリーレポート 毎週金曜日

7.学習レポート

各レポートで使用するものは以下の3つです。

□ デイリーレポート

- ・デイリーレポート提出フォーム(<https://ux.nu/EHkdU>)

□ ウィークリーレポート

- ・ウィークリーレポート提出フォーム(<https://ux.nu/N4ZFr>)
- ・[雛形]ウィークリーレポート(<https://ux.nu/8ngnc>)

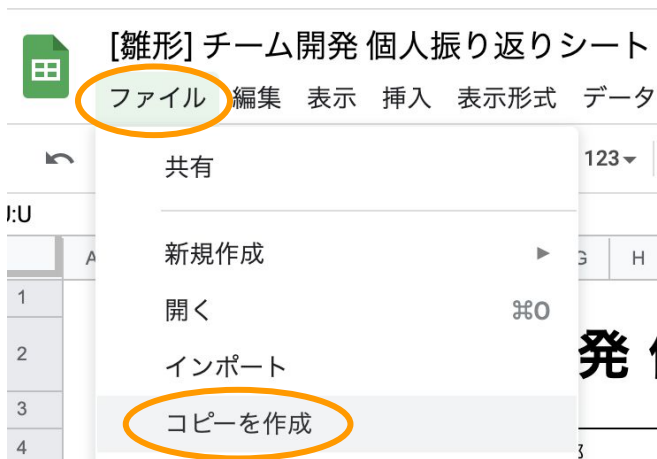
※必ず「[雛形]ウィークリーレポート」をコピーして使用してください。コピーの方法については後述いたします。

7.学習レポート - ファイルのコピー方法について -

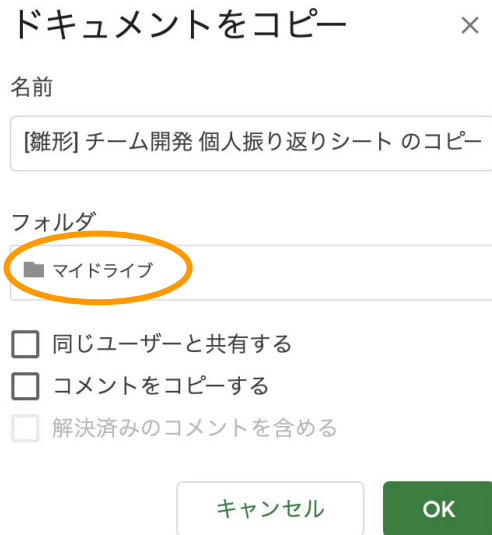
▶ ファイルコピー手順

- 左上の**ファイル→コピーを作成**でファイルを複製して使用してください。
- **保存場所:マイドライブ**

1



2



デイリーレポート

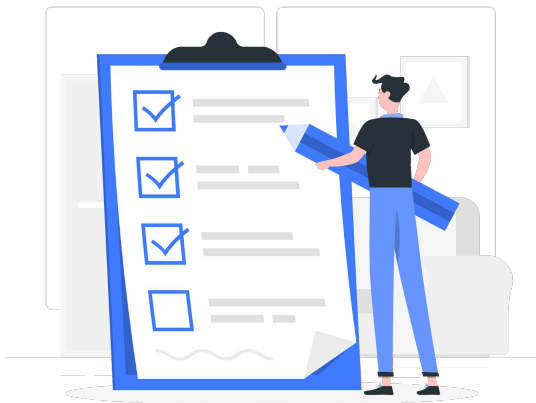
7. デイリーレポート

デイリーレポートは、
フォームにて日々の学習を振り返っていただきます。
デイリーで学習内容/進捗を記録することで、
現状の学習状況、取り組んだ内容でどこに時間がかかったかなどを確認
することができ、改善点がわかりやすくなります。

また、日々の進捗を記録することで備忘録にもなり、すでに学習した内容や、理解が薄い箇所などが整理され効率的に学習を進めることができます。

※必須で取り組みをお願いいたします。

実施日 毎日学習終了時点（※休校日は除く）



7. デイリーレポート

学習フェーズ *

- ☐ 基礎学習フェーズ（1ヶ月目）
- ☐ 応用課題フェーズ（2ヶ月目）
- ☐ ポートフォリオ制作フェーズ（3ヶ月目）
- ☐ 専門技術学習フェーズ（4ヶ月目）

本日、学んだことを教えてください。 *

例、いいね機能・フォロー/フォロワー機能について

記述式テキスト（長文回答）

前日に設定した本日の学習到達目標は達成できましたか？ *

- ☐ はい
- ☐ いいえ

「いいえ」と回答した方は、達成できなかった理由を教えてください。

例、学習内容に対して、学習時間の見極めりが想定と異なっていた

記述式テキスト（長文回答）

明日の学習到達目標を教えてください。 *

カリキュラムの章、課題名、学習内容などを記載してください。

記述式テキスト（短文回答）

学習フェーズ

学習フェーズを選択してください

本日、学んだことを教えてください

学習内容やメンターへの質問で学んだことを記入してください

前日に設定した本日の学習到達目標は達成できましたか？

当てはまる項目にチェックをしてください

「いいえ」と回答した方は、到達できなかった理由を教えてください

到達できなかった理由をできるだけ具体的に記入してください

明日の学習到達目標を教えてください

カリキュラムの章や、実装予定の機能などを記入してください

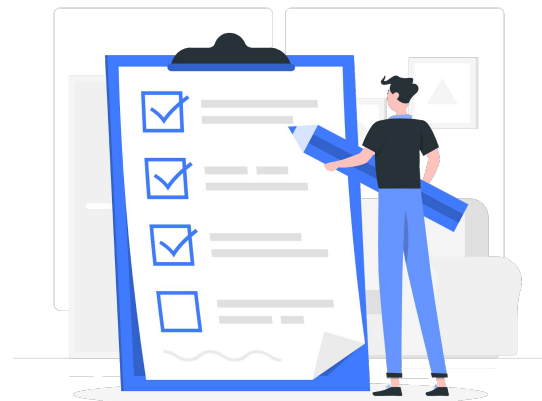
ウィークリーレポート

7.ウィークリーレポート - シートについて -

ウィークリーレポートは
KPT+ α を用いた振り返りワークを行っていただきます。
1週間で取り組んだ内容を振り返り、
「よかったこと」は継続、質を高めていき
「上手くいかなかったこと」は、やり方を変え改善、
その中で新たに気付いた事などに
取り組んでいくことで学習の質を高めていくことを目的としています。

ウィークリーレポートを記入する際は、
後述する内容と記入例を参考にしてください。
できる限り具体的に記入することを心がけましょう。

※必須で取り組みをお願いいたします。



実施日 毎週金曜日

7.ウィークリーレポート - シートについて -

Weekly Report

記入日	学習時間(今週)	学習目標時間(次週)
-----	----------	------------

今週学んだこと・振り返り

学んだこと

よかったこと(Keep)

問題点・改善点(Problem)

具体的な行動(Try-Action)

来週の予定・目標

月	火	水	木	土	日
##開始 - 終了時間	##開始 - 終了時間	##開始 - 終了時間	##開始 - 終了時間	##開始 - 終了時間	##開始 - 終了時間
##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容
##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	

注意事項

- ・タブをコピーして使用してください。
- ・[記入日]を記載してください。

7.ウィークリーレポート - シートについて -

記入日	学習時間(今週)	学習目標時間(次週)
4/10	51時間	48時間
今週学んだこと・振り返り		
学んだこと		
<ul style="list-style-type: none">・ items MVC作成・ member viewの作成・ 商品詳細ページの作成・ 商品編集ページの作成・ ジャンル編集ページの作成		
よかったこと(Keep)		
<ul style="list-style-type: none">・ member viewの作成がスムーズに行えた		
問題点・改善点(Problem)		
<ul style="list-style-type: none">・ 質問の前に自分自身で調べずに質問していることが多々あった		
具体的な行動(Try.Action)		
<ul style="list-style-type: none">・ 質問する前に必ず自分で調べ、少なくとも「分からないこと」を明確にした上で質問を行う。		

学んだこと

学習内容や取り組んだ機能や、
メンターへの質問で学んだことを記入してください

よかったこと(Keep)

上手くいったこと、今後も継続したいと思っていること
なぜ上手くいったか、一番こだわったことなどを記入してください

問題点・改善点(Problem)

学習に取り組む上で問題があると感じたこと、目標に達しなかったこと、
問題の原因などを記入してください

具体的な行動(Try.Action)

良かったこと(Keep)のうち来週も取り組みたいことや
問題点(Problem)を解決するための具体的なアクションを記載してください。

7.ウィークリーレポート - シートについて -

来週の予定・目標

月	火	水	木	土	日
##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間
11:00~19:00	8:00~17:00	11:00~19:00	9:00~20:00	13:00~22:00	11:00~19:00
##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容
ジャンル検索後の商 商品詳細画面を表示	新規作成カート内商	編集したカート内商 カート内商品タブ	カート内商品の削除 カート内商品を空に	・管理者側の会員一	管理者側のヘッダー
##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標
商品詳細画面を表示	新規作成カート内商	カート内商品タブ	カート内商品を空に	・管理者側の会員一	管理者側のヘッダー

開始・終了時間

来週の学習開始予定時刻・終了予定時刻を記入してください

学習内容

来週の学習予定内容を記入してください

到達目標

来週の目標学習進捗や到達目標を記入してください

7.ウィークリーレポート - 提出方法について -

ウィークリーレポート

1週間の学習を振り返り、翌日の目標を設定しましょう。

*必須

メールアドレス *

メールアドレス

氏名 *

回答を入力

受講生ID *

回答を入力

学習フェーズ *

- ☐ 基礎学習フェーズ (1ヶ月目)
- ☐ 応用課題フェーズ (2ヶ月目)
- ☐ ポートフォリオ製作フェーズ (3ヶ月目)
- ☐ 専門技術学習フェーズ (4ヶ月目)

ウィークリーレポートのリンクを提出してください。 *

回答を入力

メールアドレス

メールアドレスを入力しましょう

氏名

お名前を記入してください

受講生ID

受講生IDを記入してください

学習フェーズ

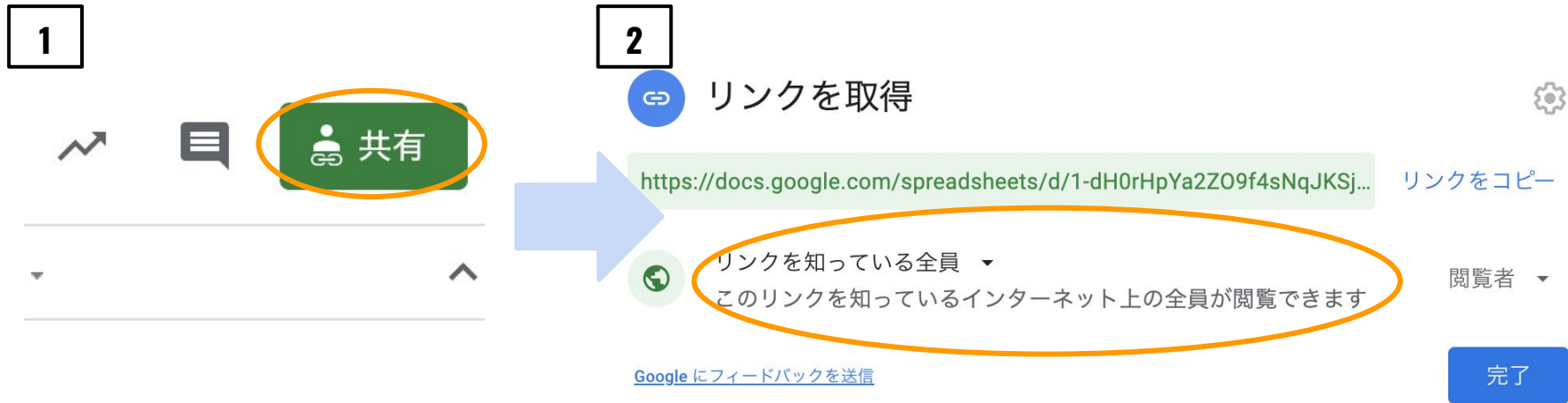
学習フェーズを選択してください

「ウィークリーレポート」のリンクを提出してください

提出の際、権限を「閲覧可能」にしてください

7.ウィークリーレポート - 提出方法について -

- 右上の「共有」から**閲覧権限を付与**してください。



8. デイリースクラム

8.デイリースクラム

お互いの学習進捗を共有したり、教え合いをする機会としてみなさんへ

「デイリースクラム」という取り組みをご用意しました。

日々の進捗を日報形式で記載できる**「デイリーレポート」**を利用して、

お互いの進捗状況を共有し合ってみましょう！

これを行うことで制作ペースの維持や、自身の進捗を客観視し、

制作の軌道修正をするといった取り組みに活用することができます。

毎日11:00 15分程度(休校日を除く)

8.デイリースクラム -進行について-

進行フロー

① 11:00 ~ 集合したメンバーと挨拶しましょう



③ 11:05 ~ 発表順を決めて、共有し合います



④ 11:15 ~ 発表が終了したら学習を始めましょう

毎日11:00までに

Remoのテーブルにお集まりいただき、左記の手順で進めていきましょう。

8. デイリースクラム - アジェンダー

- テーブルのメンバーと**デイリースクラム**をしましょう！

デイリーレポートに記載した内容を元に、以下について共有します。

- 昨日の学習到達目標は達成できましたか？（はい or いいえ）
- いいえ ➡ 何が原因で達成できなかったのか
- 現在の学習進捗はどこまでか（例：カリキュラム「Railsを学ぼう」の〇章）
- 本日の学習到達目標はどこまでか（例：カリキュラムの〇章まで、課題の完成）
- （その他、あれば）学習で気をつけていること、意識していること、気づいたこと等



**こんなに学習に打ち込める期間は
もうないかもしれません。**

**意味のある1ヶ月間にできるかは
あなた次第です！**

あなたはどんなPFを作りますか？